

平成19年度あきた農山村・活力倶楽部事業
(秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金)

Akitaふるさと活力人養成セミナー (第2期)

第4回セミナー (H19.11.9-10)
仙北市 かたくり館 八津・鎌足集落



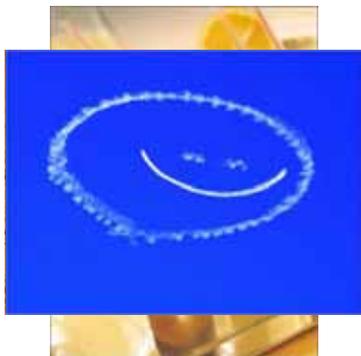
アイスブレイキング

「氷を砕く」・・・初めて会った人同士がうち解けるための方法

あなたを知りたい

100万円ジャンケンハンター

この絵が好き



今回の作業グループ

今回のグループ分けについては以下のようにします。

西木こまち班

鈴木
奈良
西川
門脇心

すぎっち班

杉淵
畠山
門脇
沢田

ゴールド班

金
金子
金萬
齊藤

柴加利寺班

柴橋
加藤
由利
安養寺

グループ分け

本来は4～6人くらいがよい
 多すぎると・・・役割が不明確、意見が十分に反映されない
 少なすぎると・・・問題意識が平板になって魅力発見のチャンスが縮小
 年齢・性別などによる分類、生活圏による分類など
 ゲームによる不作為なグループ分け

フィールドの決定

- 鎌 足 1 柴加利寺班・・・柴橋・加藤・由利・安養寺
- 鎌 足 2 西木こまち班・・・鈴木・奈良・西川・門脇富士美
- 八 津 1 GOLD班・・・金・金萬・金子・齋藤
- 八 津 2 すぎっち班・・・沢田・畠山・三浦・門脇砂絵美

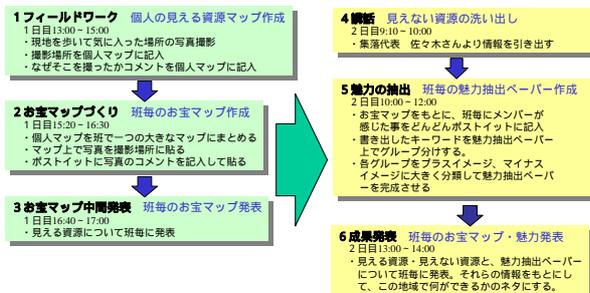
グループの役割分担

- 進行（ファシリテーター）
- ・・・円滑に促す役割であり、リーダーではない
- 記録
- ・・・各作業中の意見・コメントなどを記録
- 写真
- ・・・作業中の写真撮影
- 他にも、発表係や連絡係などが必要な場合もある

第4回セミナー全体の流れ

- 目的
- 受講生： フィールドワーク～ワークショップの実施の手法を学ぶ
 地域住民に着火させるためのきっかけづくりを実践する
- 地域住民： 地域にあふれている資源を再発見し、その資源をどう
 活かして地域の将来像を描くか、考えるきっかけ

第4回セミナー全体の流れ



フィールドワーク

～現地をまわって新たな発見～

- ・実際に歩いてみる。
- ・気に入った場所をチェックしてみる。
- ・写真に撮ってコメントを添える。
 (気に入った理由・感じた思いなど)

フィールドワーク

4～8人程度のグループで

持ち物

- ・各自が地図もつ（住宅地図・市町村管内図など A4程度）
- ・カメラ（デジタルカメラ・ポラロイドカメラ等）
- ・筆記用具の他、画板等があると便利



対象エリアを地図を持って歩く

Point 1

- ・形にとらわれず、これは！と魅力を感じたものを撮影
- ・地元の方に頼りすぎず自分の視点で！
- ・写真は一人3枚程度で勝負する（カメラ交代制）
- ・各自の地図には撮影場所とコメントを書き入れる

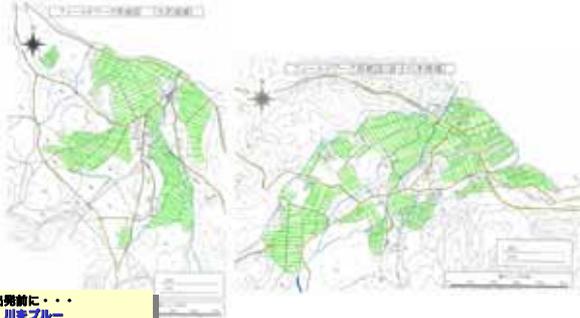
個人用マップの事前準備



出発前に・・・
 川をブルー
 道路をオレンジ
 水田をグリーン
 蛍光マーカーで各自着色

班・名前を記入

個人用マップの事前準備



出発前に・・・
 川をブルー
 道路をオレンジ
 水田をグリーン
 蛍光マーカーで各自着色





お宝マップづくり

～ 班のメンバーで情報を共有する～

- ・個人マップを合体させて班マップとする。
- ・系統毎に色を変えて写真の下にタイトルを添える。
- ・タイトルの下に簡単な解説を記入。
(気に入った理由・感じた思いなど)

- 1) まずは班のメンバー同士で写真を分類する
 - ・バラバラに書き込むとあとで整理しづらい
 - ・色分けや図上の配置をメンバーで検討する
- 2) 分類のポイント
 - 自然・景観系**
 - ・風景・里山・川など
 - ・公共工事と景観との調和など
 - 生産施設系**
 - ・水田・畑など
 - ・用排水路・取水施設など
 - ・耕作放棄などによる荒れ地
 - 生活・文化系**
 - ・寺社仏閣・文化財・名所旧跡など
 - ・伝統行事に関連するもの
 - ・宅地、広告看板等と周囲との調和など

色ルール

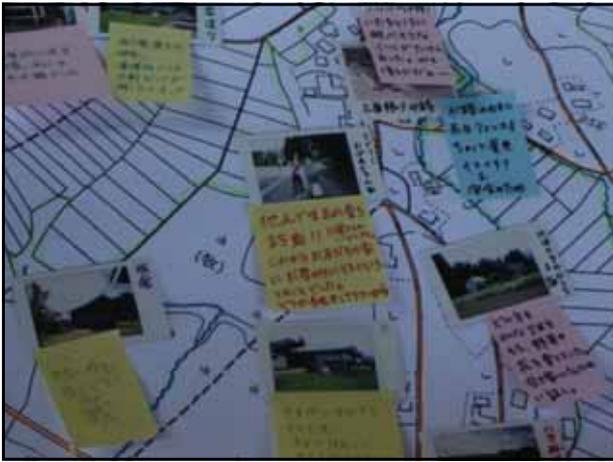
- 自然・景観系 青
- 生産施設系 赤
- 生活・文化系 黄

コメント(道名以外) []

タイトル []

ポイント:
一気に図面に書き込むと構成が大変
ポストイットを有効利用する





見えない資源について

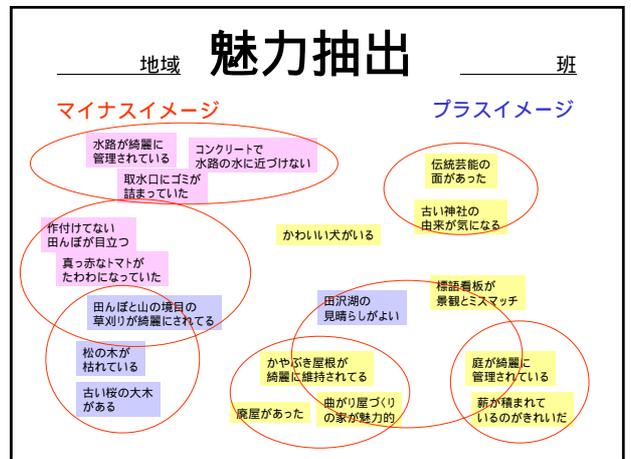
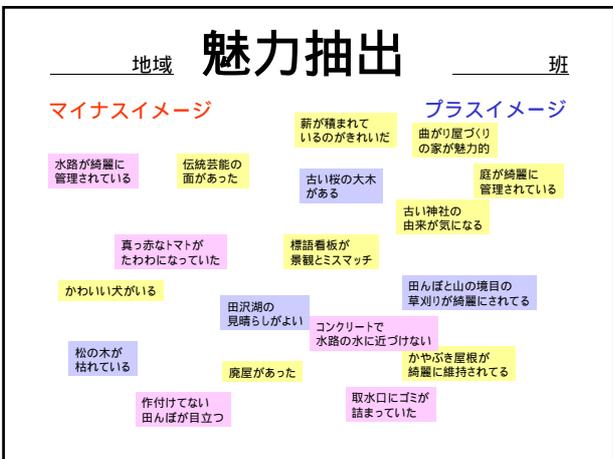
～ 地元住民の視点から見た八津・鎌足地域～

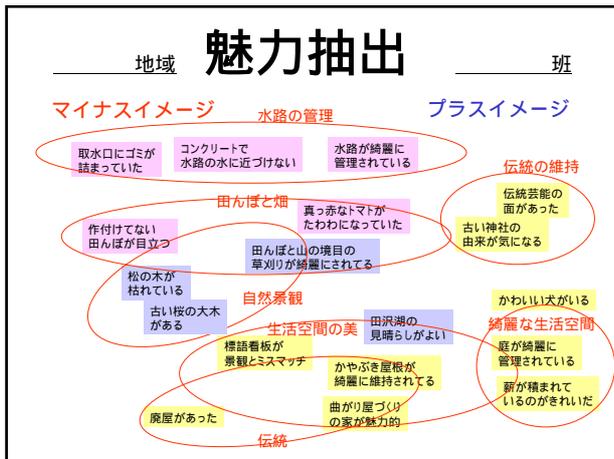
常会長の佐々木さんから話を伺う・・・

魅力の抽出作業

～ 地域の魅力、プラスとマイナスを整理する～

- ・各班のお宝マップをもとに各自の印象・意見をポストイットに記入。
- ・各メンバーの意見を班毎にカテゴリ化する(分類のポイント注意)。
- ・各カテゴリ毎にタイトルを付ける。
- ・各カテゴリ内でプラス・マイナスで大まかに配置する。





発表会

～お宝マップと魅力抽出ペーパーで地域を説明～

この発表内容を検討のベースにして、第5回(12/20)までに現地企画案を各自で作成すること。

現地企画の企画案をつくる

第5回セミナーまでに以下についておおまかに作成し発表
(現地企画の原案の原案)

まとめるポイント

1. タイトル
2. 目 標
3. スケジュール
4. プログラム
 - ・対 象 / 人 数 / 内 容
5. 効 果
6. 予 算

注意: 次回の第5回セミナーで「計画策定」を学び、本格的な企画書作成に取りかかりますが、その前段として、各自のアイデアを上記ポイントを参照に大まかにまとめておくこと。